教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係」の構築

東浦町ＳＰ通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 18 号
2021 年 8 月 21 日
編集　緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

わくわく算数・数学教室　初日（２１日）

８月２１日、ついに「夏休みわくわく算数教室」が片葩小学校で始まりました。季節外れの雨続きでジメジメした足元の悪い中でしたが、参加予定だったＳＰさんが全員、予定通りに来てくれました。算数教室の開始時刻は９時半ですが、ＳＰさんたちは９時に集合をして打ち合わせを行います。この打ち合わせの時間、大好きです。「今から始まるんだ」というワクワク感、みなさんの真剣に話を聞く姿勢、毎度とても素晴らしい雰囲気です。活動初日ということで、片葩小の中村コーディネーターよりさまざまな連絡事項や注意点の説明がありました。今年もコロナウイルスの感染症対策に関する注意点がたくさんありました。この注意点を実際に聞いたり、読んだり、見たりするだけでも学校現場での対策がよく分かると思います。学校現場では“安心・安全”が第一です。「教職を目指す学生に向けて」しっかり考えられた活動だからこそ、そうした注意点についても詳しく説明がされます。これだけでも大きな学びの一つだと思います。

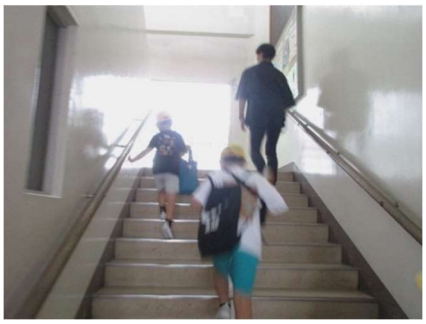
午前の活動が始まりました。冒頭、中村コーディネーターから子どもたちに「一番やらなきゃいけないことは“コロナに負けない”ということです」というお話がありました。こうした言葉の言い回し、なるほどと思ったＳＰさんもたくさんいたのではないでしょうか。子どもと一緒に説明を聞きつつ、ベテランの先生はどうやって子どもたちに話しているのか、どういう言い方（言葉選び）をしたら子どもたちにスッと入るのか、それを学ぶ機会にもしてもらえたらと思います。ぜひ、ベテランの先生や一緒に活動しているＳＰさんがどう指導をしているのかを見て聞いて、良いところを盗んでいってください。

午前の部・午後の部を通して、どの子どもたちもびっくりするくらい静かに、一生懸命勉強に取り組んでいました。最高の空間です。１年生でも、９０分間イスに座って静かに勉強をしていました。すごいことです。そして、それは紛れもなくＳＰさんたちの力です。ＳＰさんたちが、笑顔で、優しく寄り添ってくれるから、目を見て話を聞いてくれるから、あそこまで集中して勉強できるのです。普段、家や学校で集中できなくても、わくわく算数教室に来たらできるのです。「『(わくわく算数教室) 絶対開催してほしい！私は行きたいから中止なんて絶対にやだ！』ってこの間子どもが話してたんだよね。わくわく算数教室は予定通り開催できるのかなあ？本人もすごく楽しみにしてるし、親としてもやってもらいたいなあ」という声を、先日保護者の方からいただきました。これもまたすごいことです。子ども自身がこんなに楽しみにしてくれているということ、家に帰って家族にも算数教室のことを話していたこと、これだけ子どもたちが満足しているということです。ＳＰさんたちと勉強するこの算数教室は、子どもにも保護者にも楽しみな夏休みの行事になっています。ＳＰさんたちの子どもたちを見る優しい目、子どもたちの話をしっかり聞こうという前のめりの姿勢、何度見ても素晴らしい光景です。そんな光景を今年も見られたことがとても嬉しいです。感謝の気持ちが溢れます。

次のページに写真を掲載します。充実した算数教室が今年も始まりました。少しでもその様子をお伝えできればと思います。ＳＰさんたちの工夫も必見です！

←朝、昇降口でＳＰさんたちが子どもたちを迎えてくれます。毎年恒例の姿が今年もありました。玄関で出迎えてもらえると、子どもたちもホッとしますよね。「頑張って来てよかった」と思える、最高の笑顔で出迎えてくれます。

算数教室の会場は、３階のなかよし音楽広場です。１年生は特に、初めての参加でキョロキョロしていました。そんな様子を見たＳＰさんが一緒に３階まで登ってくれていました。手厚さがすごいです！それに気が付けるＳＰさんもさすが！→



←受付ももちろんＳＰさんがしてくれます。２人のＳＰさんの元気な「おはようございます！」が３階の廊下に響き渡っていました。最高です。

会場に入るとすぐにＳＰさんが声をかけてくれます。挨拶をして、「学年と名前を教えてください」と聞き、座席表を見ながら指定の席まで子どもたちを案内してくれます。毎度驚くことに、この案内をしてくれるＳＰさん、ほぼ全員が子どもたちの横にしゃがんで案内をしてくれるのです。これを無意識に出来ることがすごい！東浦町のＳＰさんの質が高いと言われるのも頷けます。→

←いよいよ算数教室がスタート！学習前に、コロナウイルスの感染症対策“７つのやくそく”をみんなで静かに聞いていました。ＳＰさんも子どもたちも、今日の算数教室一日を通して、しっかりこのやくそくを守ってくれていました。

←算数教室がスタートするとまず、ＳＰさんと一緒に今日やることを決めて、プリントを自分たちで選びます。子どもたちが選ぶのをよく見たり、よく聞いたりしてくれるＳＰさんたち。自分たちで選ぶから、集中して楽しく学習ができます。

どのＳＰさんも、子どもの表情を見ながら進めてくれます。現場に来ないとできないことです。現場感覚、現場経験です。目の前の子どもたちの様子を見ることで、現場感覚を磨いていくＳＰさんたち。特に、ウィークリーＳＰさんたちの声かけや接し方は格別でした。今まで得た現場感覚と、元から持っているセンスが輝いていました。

←「時計」の単元に苦労していた児童には、絵を描いて説明をしていました。そしてパンチをしているようなこの写真……、これも時計のイメージをなんとかつけてもらおうと、動きと連動するという工夫をしてくれていました。発想が素晴らしい！

ウィークリーSP さんと中村コーディネーターのオフショット！こっそり（？）撮りました。ウィークリーSP さん同士もとっても仲良し。ＳＰさんたち自身も楽しく取り組めるのが東浦町のＳＰ活動です。 →

←今日は東浦町の教育長や教育部長も駆けつけました。片葩小学校の校長先生と現場の先生もサポートに来てくださいました。学生ボランティアは町全体、学校全体で取り組んでいる一大事業です。

今日も１００枚以上の写真を撮りました。もっともっと、良い写真、お見せしたい写真がたくさんあります。全て載せられないのがとても残念です。また次号でも、ＳＰさんたちの素晴らしい活躍をお伝えできるようたくさん写真を撮ります。月曜日が来るのをワクワク、楽しみにしています。来週もよろしくお願いします！